2011年1月13日

東急リアル･エステート投資法人（東急 REIT）との連携強化について

東京急行電鉄株式会社

当社は、2003年9月の上場以来、スポンサーとして協働体制を図っている東急リアル・エステート投資法人（以下　東急REIT）との連携をさらに強化します。

東急REITは、日本で7番目に上場した不動産投資信託（REIT）であり、「成長力のある地域における競争力のある物件への投資」を基本方針とし、東京都心5区（千代田、中央、港、渋谷、新宿）および東急線沿線地域を主要な投資対象地域とした、首都圏のみに投資する投資法人です。

今般、当社と同じく東急REITのスポンサーである東急不動産株式会社（以下　東急不動産）が、全国主要都市の商業施設・オフィス等を投資対象とする新たなREITを設立し上場を目指すこととなり、東急REITと東急不動産が設立・上場しようとする新たなREITとの間で競合等が懸念されることから、それぞれのREITの成長戦略実現のために、東急REITのスポンサーシップを解消したいとの申入れがありました。

当社としては、自社で展開する不動産開発・賃貸事業の事業エリアと東急REITの投資対象地域とが概ね重複しており、東急REITが提唱する「循環再投資モデル※1」により、拠出物件への継続的な関与を図りながら、沿線地域の付加価値向上およびバランスシートの最適化を推進できることから、スポンサーシップを当社に一本化し、東急REITとの戦略的コラボレーションの強化を図るものです。

※1 当社が東急REITへの物件拠出により回収した資金を、東急線沿線地域を中心とした不動産開発等に再投資することを通じて、東急線沿線地域での経済活動が活性化され、東急REITの投資対象地域の付加価値向上とともに保有物件価値の維持･向上が実現されるというもの

具体的には、東急不動産が保有する東急REITの投資口、および東急REITの資産運用会社である東急リアル・エステート・インベストメント・マネジメント株式会社（以下　東急REIM）の株式を当社が取得し、東急REIMへの人材の配置をさらに進めていきます。また、上場以来のパイプラインサポート機能も継続し、東急REITへ投資適格物件の取得機会を積極的に提供することにより、今後、当社の事業エリアにおいて東急REITの不動産保有･賃貸機能の役割が増していくものと認識しています。

一方で、当社株主および東急REITの投資主、さらには市場からの信認を勝ち得ていくため、これまでと同様に利害関係人としての適切な距離を維持、確保していきます。

なお、本件に関しましては、本日付で当社、東急不動産、東急REIT、東急REIMの４者にて、必要な手続等を定める基本合意書を取り交わしましたが、東急不動産が保有する東急REIT投資口の当社による取得については、当社および東急不動産の取締役会承認が必要であり、東急REIT投資主総会での投資法人規約変更承認後の実施となります。

本件については、東急REIT（8957）、東急不動産（8815）もリリースを発表しますので併せてご覧下さい。

以　上